

学校法人 東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校

平成 29 年度 学校関係者評価委員会 議事録

日 時 平成 29 年 5 月 30 日 (木) 14:00~18:00

会 場 新東京歯科技工士学校/新東京歯科衛生士学校
東京都大田区大森北 1-18-2 TEL:03-3763-2211

参加者 学校関係者評価委員会 委員
【新東京歯科技工士学校】
卒業生代表 三上 久美 武蔵野歯科医師会 歯科衛生士
高等学校関係者 阿部隆一 東星学園高等学校 講師
業界関係者 富田 基子 (社)東京都歯科衛生士会 会長
【学校関係者】
中村道雄 学校法人 東京滋慶学園 理事長
福原達郎 新東京歯科技工士学校 学校長
高平 敦 新東京歯科技工士学校 事務局長
今井リカ 新東京歯科技工士学校 教務部長
浜千恵美 新東京歯科技工士学校 学生サービスセンター長

(議事録：浜千恵美)

議 題 <会議の概要> (進行：高平)

学校長挨拶 (福原学校長)

- ①平成 28 年自己点検・自己評価概要説明
- ②平成 29 年度重点目標についての報告
- ③意見交換

事務連絡〔評価シート記入、提出について、日当交通費について〕

閉会 (中村理事長)

高平)

平成 26 年から始まりました職業実践専門課程ですが、本校は技工士学校から認可をうけ、翌年に衛生士学校が認可されました。年に一度、この学校関係者評価委員会で評価委員の皆さんから評価を頂いております。よろしくお願ひします。

福原)

ご多忙の中、気温が 30 度以上の中、御越し頂きまして有難うございます。本日は、宜しくお願ひ致します。

高平)

11 月から異動して参りました。もともと東京医薬専門学校 言語

聴覚士科の学科長として配属され、そこで、医療の専門ではない私が勉強する中で理学療法、作業療法、関連領域のところで、歯科衛生士という職業を知りました。その後、東京スポーツ・レクリエーション専門学校に配属となり、現在、新東京へ配属となりました。

この学校の魅力、職域の拡大に関心がもてたのも姉妹校での医療分野の勉強会を通じて学んだからです。

では、大項目を中心に説明をさせていただきます。

※このあと、「学校法人 東京滋慶学園 新東京歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会 評価結果および改善方法」をもとに・・・添付有

高平)

1 教育理念・目的・育成人材像

カリキュラムについては、毎年、改善工夫をしています。業界の動向、高校生の動き等を考慮し組み込んでいます。

2 学校の運営

学校運営のための事業計画を毎年作成しています。また、長期の5年のサイクルでも見ており、今年はちょうど節目の年でもあります。

3 教育活動

衛生士学校では、申請上の人員は足りているのですが、課題が専任の勤続の継続です。歯科衛生士が辞めることなく継続して職務につくことが望ましい。

資質向上の取組は、歯科衛生士訪問歯科診療等です。

歯科技工士学校では、定年を迎える者がいます。

今井)

専任の勤続の継続は大きな課題、臨床現場から教員となり、教育に携わったが思っていた内容と違うと感じ退職につながります。また、教育現場も学生・保護者の変化にともない、難しい対応が必要となっています。学生を通して人が育つ姿を感じ、それがやりがいとなれば継続につながります。問題解決についてプロセスを学ぶことで仕事に面白さを見出す事が出来ます。大森歯科医師会と協力しながら訪問歯科診療等、学校外部、業界地域との連携など、まず教員が参加し、学生の学校と現場と意識の高い歯科衛生士を育成しております。

高平)

学校の取組紹介

1, 歯科新聞に掲載

プロバスケットチーム、アースフレンズと提携
選手に教員が中心となり、印象採得しマウスガードを製作
2, フジサンケイビジネスアイ、ヤフーニュース、
バスケットの雑誌、その他、各メディアで紹介
3, ボブスレーのジャマイカ代表の選手と提携
4, アメリカフットボールの中村選手のマウスガード製作
明るい話題になるよう取組をしています。他にも海外のオリンピック選手との提携、例えば、ネパールのオリンピック選手委員会と話しをしており、マウスガードが必須のテコンドー選手のマウスガードをつくれぬか等話しをしています。
技工関係のものづくり関係に拡げる事により、学生が選手に触れたりすることで自分達の仕事のやりがいを感じられたらいいと考えます。

4 教育成果

高平)

歯科衛生士科については、全国平均よりも上回っているものの国家試験合格率に課題があります。

今井)

国家試験に関して新東京歯科技工士学校の合格率は6年連続100%合格達成です。新東京歯科衛生士学校はI部II部、全国平均93%に対し、上回っているものの100%となっていません。今年の問題は、単純に過去問題を解けるようになっているだけでは対応できません。いくつかの条件を複合的に考え、問題を解く力が必要です。この解ける力を教育の中にアクティブラーニングを取り入れるなどをして解決したいと思っています。

5 学生支援

高平)

専門学校の退学率は、平均的に6%といわれています。その中で本校は、3.0%です。退学防止は図られていると思います。

休学する学生もおりますが、復学している率も高いので対策はうてています。健康管理については、提携を結んでいる慶生会クリニックが学生の健康管理をしています。また、近隣の病院とも連携をはかっています。

保護者との連携の時間を増えています。学校の授業、学校生活だけではなく、ご家庭での協力も必要になりますので保護者との連携が大切だと考えています。

三上)

優秀な方も増えており、歯科衛生士の学生は審美、介護等の知識や技術を学び、頑張っている学生がいます。業界では、離職をし

て主婦になり、再度、歯科衛生士になるように働きかけも開始しています。同窓会と学校が情報共有できれば良いと考えます。

6 教育環境

高平)

施設設備は最新を意識して整備しています。

歯科衛生士の臨地実習時間が長いのですが実習巡回の教員が現場指導者とコミュニケーションを取っています。

国際教育、海外研修

今井)

国際教育においてハワイ海外研修を実施、研修内容として、

①ハワイ大学での歯科事情についての講義

②ハワイにある保育園にて歯磨き指導の実習

今後は、歯科先進国であるフィンランドにて研修実施も検討します。

阿部)

海外研修は自費ですか？

高等学校では、自費が多いのですが、大学では支援を受けていくことがあります。

高平)

国の補助は、1ヶ月以上の海外研修が対象です。積極的に活動して行きたいと思います。しかし、海外の情勢不安定を考えると今は難しいと思います。

国際教育をかかっている以上、海外研修は今後も継続します。

7 学生の募集と受け入れ

高平)

秋に歯科衛生士科Ⅰ部募集終了、Ⅱ部においても1月には募集を終了しております。歯科技工士科が定員充足に苦戦しており、今年の新入生は全国で927名昨年1000名以上希望者がいたが下回りました。

本校は若干入学希望者が増えていますが技工士の認知が低く、仕事の魅力を伝え業界全体の数を上げていく必要があると考えて活動しています。

8 財務

浜)

財政基盤の安定ですが、毎年事業計画をたてており監事監査、公認会計士をいれてチェック体制は整備されています。また、監事監査から適正な計算書類を作成していると報告を受けています。また、財務情報等も公開されており信頼性の確保には努めています。

9 法令の遵守

高平)

学校の設置基準をみだし、運営や在校生数、定員等は、ホームページ上でも公開しています。

10 社会貢献

高平)

歯科衛生士科では、大田区歯科医師会と訪問歯科診療に同行し地域貢献のボランティア活動を実施しています。

11 国際交流

高平)

ジャマイカ選手との交流等、さらに学生が交流できる場を積極的に参加していきたいと思っています。

その他、就業、やりがいなど

富田)

歯科衛生士会が把握している歯科衛生士の再就職は、50,60代の方からの応募があります。

三上)

同窓会では、歯科衛生士が主体性を持って技術を身に付け自信を持って業界で活躍し続ける歯科衛生士を育成したいと考えています。認定衛生士という資格を取得している看護師がいます。歯科衛生士の職域の口腔ケアの対応ができる方が増えています。歯科衛生士は危機感を持つ必要があり、学校と連携し歯科衛生士の為の技術、知識、質の向上など習得できる環境をつくりたいと思います。

阿部)

文部科学省が対面式で一方的ではないアクティブラーニング授業を小学校、中学校でやっています。その子達が専門学校へ来ると考えると、楽しい授業の展開が必要だと思います。御校でもアクティブラーニング授業を導入していると聞きました。この授業は、教員がアクティブラーニングのことを勉強しないとイケないと考えます。

今井)

アクティブラーニングについては、教員側（使い手）の手法を間違わないように気を付けます。教員は研修を受講し、授業可能な教員が授業をします。グループワークをすることがこの授業のやり方ではなく、学生の脳の活性化が望まれる手法なのでしっかりと研修を受けてから実施していきます。

また、成果をあげている外部の看護学校等に訪問し、勉強する予定です。授業実施者としては非常に難しい手法なので、しっかりと学びシステム化し、水平展開していきたいと考えています。

阿部)

アクティブラーニングは、大学において専任にできても非常勤には難しいと考えられており、90分授業全部の中で実施するのも難しい。他の専門学校に出向いて学ぶなど先駆的だと思います。

高平)

学校関係者評価委員会は年に1回しかございませんが、学校運営、そして、カリキュラムに生かしていきたい。

笑顔をつくる仕事をうちだしている学校ですので、「今日も笑顔であいさつを」と学内に標語も掲げていますが、まず学生に歯にかかわる仕事、歯をまもる、歯をつくる、その先に患者さんの笑顔があることをわかってもらいやりがいをもって勉強に取り組めるようにしたいし、また、われわれ職員も笑顔をつくる仕事だということを広めていきたいと思います。

中村理事長)

ご多忙の中ありがとうございます。貴重なご意見を頂きました。文部科学省が職業実践専門課程を全国で902校全体の32%に対し認定を出しております。認定を受けるのも難しいといわれています。もちろん、認可されなかったところもあります。業界の先生意見をきいて先端の授業をしているか、情報公開がきちんと可能か、これが難しいと思います。歯科技工士学校は定員の15%、20%の充足率の学校もあり入学者がいなくなると危惧しています。7名だけの学校もございます。そんな中、皆さまにご意見ご教示を頂いて、質の高い学校でありたいと思います。

本日は誠に有難うございました。